

编著 / 毛文伟



华东理工大学出版社

日本语能力考试



1级进阶

日本語能力考試

1 級进阶

编著 / 毛文伟



华中理工大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

日语能力考试 1 级进阶/毛文伟编著. —上海: 华东理工大学出版社, 2007. 8
ISBN 978-7-5628-2108-3

I. 日... II. 毛... III. 日语-水平考试-自学参考资料 IV. H360.41
中国版本图书馆 CIP 数据核字(2007)第 100080 号

日语能力考试 1 级进阶

编 著 / 毛文伟

策划编辑 / 陈 勤

责任编辑 / 苏 靖

责任校对 / 金慧娟

封面设计 / 戚亮轩

出版发行 / 华东理工大学出版社

地 址: 上海市梅陇路 130 号, 200237

电 话: (021)64250306(营销部)

(021)64252717(编辑室)

传 真: (021)64252707

网 址: [www. hdlgpress. com. cn](http://www.hdlgpress.com.cn)

印 刷 / 上海崇明裕安印刷厂

开 本 / 787mm×1092mm 1/16

印 张 / 21

字 数 / 518 千字

版 次 / 2007 年 8 月第 1 版

印 次 / 2007 年 8 月第 1 次

印 数 / 1—8050 册

书 号 / ISBN 978-7-5628-2108-3/H·631

定 价 / 28.00 元

(本书如有印装质量问题, 请到出版社营销部调换。)

前 言

日本语能力考试是由日本国际交流基金和日本国际教育协会组织的日语水平考试。由于其考查的范围较为广泛,试题的内容、形式较为严谨,能较客观地检验应试者的语言能力,因此自推出以来,受到了广泛的认可和关注。由于一、二级合格证书在就职、留学等方面发挥的作用日益显著,因此每年参加考试的人数不断增加。相应地,也出现了一批以指导应试为目的的辅导类书籍。

从内容上看,日本语能力考试的试题可分为文字词汇、听力、读解和语法四大部分,因此各类辅导书籍也往往只针对其中的某一部分,不及其余。但实际上,这四大部分是相辅相成的。将其分割开来进行复习,由于缺乏语境的提示,常常会导致学习者不能融会贯通,不利于其有效掌握相关内容,难以达到提高语言综合运用能力的目的。

针对以上问题,笔者参考了国内外大量相关材料,并以《日本语能力考试出题基准》(改订版)中的有关规定为依据,进行筛选和整理,构成了较为完整的体系,以帮助读者提高应试能力。

本书共由 25 个单元构成,每个单元包括长文 1 篇、短文 3 篇,含「新出単語」、「本文」「文法の解説」、「読解文」、「課外練習」等条目。在内容编排上,保证每个单元的读解文章中,均能出现 5~7 个新的一、二级文型,从而使学生在做阅读文章的同时,能够熟练掌握各个文型的意义和使用方法,并加深对文章的理解,提高阅读分析的能力。同时,在每个单元后面还附有相应的练习,以巩固学习成果,提高综合能力。

为便于读者查阅,本书还从各篇读解文章中抽取出的较难的单词,构成单词表,并在每个单元后面附加相应词汇和语法习题,以保证一定的练习量。相信本书对于准备参加 1 级日本语能力考试的学习者以及活跃在教学第一线的广大教师,将会起到很好的参考作用。

本书的材料收集工作始于笔者在日本名古屋外国语大学留学期间。在编写过程中,笔者又得到了张东、李勤、陈雪、高洁、完顺宝、何慧兰、周赛华、完震峰、辛巧云等老师的热情协助,在此一并表示感谢。

编者

2007 年 6 月

目次

第一課	通勤電車内の過ごし方	1
第二課	やり過ごし	14
第三課	伝統と国民性	26
第四課	よりよい生活への追求	38
第五課	平等というのは	50
第六課	自動販売機において	61
第七課	蝶の蜜探し	73
第八課	個性というもの	85
第九課	相手	98
第十課	アメリカで感じたこと	111
第十一課	孤独な医者	124
第十二課	人間の聴覚	136
第十三課	現代人の忙しさ	147
第十四課	ゴルフ場の環境保護	159
第十五課	芝生を刈る	171
第十六課	ヒトの学習、動物の学習	183
第十七課	日本人のお正月	195
第十八課	いわゆる世界共通語について	207
第十九課	好奇心というもの	219
第二十課	文化事業の援助について	230
第二十一課	パソコンの適性	242
第二十二課	知能	253
第二十三課	「文化国家」を目指す日本	265
第二十四課	人の頭型	277
第二十五課	容貌と気性	289
付 録		
	単語表	301
	文型索引	310
	練習の解答	314

第一課 通勤電車内の過ごし方



新出単語

洗礼(せんれい)	[名]	洗礼
及ぼす(およぼす)	[五他]	达到, 波及
パーソナルスペース	[名]	个人空间
侵す(おかす)	[五他]	侵犯
ストレス	[名]	压力
高まる(たかまる)	[五自]	高涨
留める(とどめる)	[下一他]	停下, 留下
自衛(じえい)	[名]	自卫
論じる(ろんじる)	[ス他]	论述, 争论
ヘッドホン	[名]	耳机
遮断(しゃだん)	[名・ス他]	遮断
消極的(しょうきよくてき)	[ナ形容詞]	消极的
見なす(みなす)	[五他]	看作, 视作, 认为
保健(ほけん)	[名]	保健
格好(かっこう)	[名]	装束, 合适
つり革(つりかわ)	[名]	吊环, 吊带
握り棒(にぎりぼう)	[名]	扶手

筋力(きんりょく)	[名]	肌肉的力量
つま先立ち(つまさきだち)	[名]	用脚尖站立
局部(きょくぶ)	[名]	局部
疲労(ひろう)	[名]	疲労
アキレスけん	[名]	阿基里斯腱
循環(じゅんかん)	[名・ス自]	循環



本文

新入社員は、入社後一、二カ月の間に、社会人としてのさまざまな洗礼を受ける。通勤ラッシュもその一つだろう。

日本女子大学文学部の本間道子教授は、さまざまな空間が、人間におよぼす影響^①についての“空間行動学”を専門にしているが、通勤ラッシュ^②について、

「人間には、①パーソナルスペースという、他人がこれ以上近づいては困る距離、苦痛を感じる距離がある。この距離は状況^③によって変わるが、日本人の場合、一般的には120センチメートル前後。満員電車はそれを侵し、他人が自分の空間に入ってくるし、他人の空間にも入ら^④ざるを得ない、非常にストレスが高まる空間。」

心身ともにストレスを最小限にとどめ、疲れずに過ごすことはできない^⑤ものか。

本間氏は、多くのサラリーマンは、経験的に②自衛手段を論じているとみている。それは本や新聞を読む、ヘッドホンで音楽や英会話のテープを聴く、ラジオで情報を得るなどである。

「これらは、自分にかかってくる刺激を、何かに集中すること^⑥によって遮断しようとする消極的な自己防衛といえる。また、多くの人が周りの人間を“人”とみなないで“もの”とみなしている。“もの”であれば、パーソナルスペースにはいられても苦痛を感じなくてすむ」と分析する。

運動不足解消の場合、疲労回復の場合にしてはというのは、東京学芸大学保健体育科の宮崎義憲助教授。

「早朝も帰宅後も運動の時間がとれない人には、通勤電車は格好の運動の場になる。つり革や握り棒を使って筋力アップが図れるし、つま先立ちの繰り返しや揺れにまかせて体重を片足だけにかかければ、下半身の強化になる。」

宮崎氏はさらに、③帰りの電車は座るより立ったほうがよいともいう。そのわけは、「人間はずっと同じ姿勢をつづけることがいちばん疲れる。座って仕事をすることが多いサラリーマンは、帰りの電車は座るより、むしろ立ったほうが、腰などの局部疲労の回復にはよい。立って腰を回したり、アキレスけんを伸ばしたりすれば、その部分の血液循環がうながされ、筋肉疲労がとれる。」

- 問1 ①「パーソナルスペース」という言葉があるが、どういう意味であるか。
- 1) 本人の所有する空間である。
 - 2) 自宅のことを指す。
 - 3) 他人から離れてほしい距離のことである。
 - 4) 他人からこれ以上離れると苦痛を感じる距離のことである。
- 問2 「②自衛手段を論じている」とあるが、それと無関係なのは次のどれか。
- 1) 本や新聞を読む。
 - 2) 寝る。
 - 3) ヘッドホンで音楽や英会話のテープを聴く。
 - 4) ラジオで情報を得る。
- 問3 「③帰りの電車は座るより立ったほうがよい」と宮崎氏が指摘したが、それはなぜか。
- 1) 人間はずっと同じ姿勢をつづけることがいちばん疲れるから。
 - 2) 帰りの電車は込んでいて、席がないから。
 - 3) 座ると乗り越ししかねないから。
 - 4) 帰りの電車にはお年寄りが多いから。
- 問4 次にあげる問題は、この文章の内容を参考にして考えることができるが、一つだけこの文章が参考にならないものがある。次の四つから、選びなさい。
- 1) 電車の中で、隣の人の読んでいる新聞や雑誌を覗きたくなるのはなぜか。
 - 2) 休日、デパートや繁華街へ行くと、ひどく疲れを感じるのはなぜか。
 - 3) 客が多くて忙しく動き回る日より、暇で立っているだけの日の方が疲れるのはなぜか。
 - 4) 電車の中で、足をふんだりぶつかったりしてもあやまらずに、だまっている人が多いのはなぜか。



文法の解説

④ ~について

意味 「それに関して」との意味を表す。

接続 [名詞]+について

- 例文
- ❖ 彼女は自分自身について、何も語ろうとしない。
 - ❖ その点について、全面的に賛成はできない。
 - ❖ 事故の原因について、究明しなければならない。
 - ❖ 日本の古典文学については、田中さんが一番詳しいと思う。
 - ❖ 試合の結果について、新聞やニュースで知れるだろう。

参照文型 ④~に関して ④~をめぐる ④~に関わる

④ ～によって(～により、～による、～によつては、～によれば、～によると)

意味 ①手段、原因などを表す。②受身の動作主を表す。③情報源や根拠などを表す。

接続 [名詞]+によって

- 例文
- ✧ 交通網の整備によって、遠距離通勤が可能になった。①
 - ✧ 私の不注意な発言によって、彼を傷つけてしまった。①
 - ✧ このファッションは新しいものを好む若者達によって直ちに受け入れられた。②
 - ✧ 行くか行かないかは、明日の天気によって決めよう。③
 - ✧ 高校を出てから、大学に進学するか仕事をするかは両親の意見によって選ぶ。③

参照文型 ④～を通じて ④～を通して ④～いかんによつては

④ ～ざるを得ない

意味 そうするより他に方法がないとの意味で、意に反してその行為を行うことを表す場合が多い。

接続 [動詞→ない] (「する」→「せ」)+ざるをえない

- 例文
- ✧ 先生に言われたことだから、せざるをえない。
 - ✧ 化学は好きではないが、必修だから取らざるをえない。
 - ✧ 倒産という事態になったのは、社長に責任があるといわざるをえない。
 - ✧ 台風で飛行機が休航してしまったので、旅行のスケジュールを変えざるを得ない。
 - ✧ 母は一週間北京へ出張に行っているから、わたしは自分で料理を作らざるをえない。

参照文型 ④～ないわけにはいかない ④～ずにはすまない

④ ～ものだ

意味 真理、一般論などについて、一種の感慨を込めて述べるのに用いる。

接続 連体修飾節+ものだ

- 例文
- ✧ 人の心はなかなか分からないものだ。
 - ✧ 水は本来低い所に流れるものである。
 - ✧ 人間って、自分勝手なものだね。
 - ✧ 春は素晴らしいものだ。
 - ✧ 人間はだれでも幸せな生活を送りたいものだ。

参照文型 ④～たいものだ ④～ものではない ④～ものがある



読解文

I

各地を旅行する毎たびに、同じ日本でも、土地が違っていると人々の生活も違う毎ものだ、と痛感させられることが多い。

もちろん、たとえば「駅前の風景は全国どこでも同じようなものになった」などと言う人がいるように、平準化の傾向はある。だが、それは表面のことだ。それぞれの土地の特徴は、世の中が便利になり、情報や交通の量が多くなっても、そうかんたんには消えない。

それは土地の人と会ってゆっくり話をすれば、すぐわかる。早い話、生活の時間割り毎からして違う。時間の流れ方も違う。関心のありかが違う。空気がきれいかどうかという違いもある。

思考問題

問 「土地の特徴」とあるが、それはどこから見出すことができるか。

- 1) 生活の便利さ
- 2) 情報の量
- 3) 交通の便利さ
- 4) 人々の過ごし方

新出単語

痛感(つうかん)	[名・ス他]	深切感到
平準化(へいじゅんか)	(名)	一般化

文法の解説

④ ～たびに

意味 「その時ごとに」「いつもそのときには」との意味を表す。

接続 「名詞＋の」/「動詞ーる」＋たびに

例文 ☆ 健康診断のたびに、太りすぎたと言われる。

☆ ふるさは帰るたびに変わって行って、昔ののどかな風景がだんだんなくなっていく。

☆ 自然災害が起きるたびに災害予知や防災体制の強化がさげられる。

☆ 上海へ行くたびに、バンドを散歩する。

☆ あの子の顔を見るたびに、死んだお母さんの面影を偲び出す。

参照文型 おきに ごとに

㊦ ～からして

意味 ①極端な例や典型的な例を示して、ほかのものはもちろんと言う意味を表す。
②判断の根拠を表す。

接続 [名詞]+からして

例文 ☆ 社長からしてやる気がないのだから、ほかの人たちはやるはずがないだろう。①
☆ リーダーからして、事態を把握していない。①
☆ あの口ぶりからして、彼はもう知っているようだ。②
☆ 彼女の笑顔からして、今度の試験にパスしたことが分かる。②
☆ 話になまりがあることからして、彼は地元の人じゃないようだ。②

参照文型 ㊦～からには ㊦～からすると ㊦～から見ると

II

もう17年も日本中の桜を追い求め、写真を撮り続けている高波重春さんという人の記事があった。「朝日に映えて風が出てくるまでのわずかな時間、それが桜のいち」だという。「そばに人がいるとだめ、花とふたり㊦きりでないとシャッターを押す気になれない」ともいていた。

ふたり㊦きり、というあたりは相当な㊦ものだ。それぞれの人に、それぞれの桜の見方がある㊦ものと感心した。咲き満ちる桜をみるのもいいが、_____に心をときめかせるのも悪くない。朝の桜、夕桜、夜桜、雨に打たれてしおれる桜、散る桜、残る桜、墓地の桜、団地の桜、山の中の1本の山桜、桜はさまざまな姿で私たちに春の命を伝えてくれる。

思考問題

問 下線のところに入れる言葉を次の四つから選びなさい。

- 1) 1分咲きの桜
- 2) 満開の桜
- 3) 夜桜
- 4) 咲き乱れる桜

新出単語

映える(はえる)	(下一自)	映照, 引人注目
シャッター	(名)	快门
咲き満ちる(さきみちる)	(上一自)	大片开放
萎れる(しおれる)	(下一自)	枯萎、颓唐
ときめく	(五自)	心动
墓地(ぼち)	(名)	墓地

文法の解説

④ ～きり

意味 ①「それだけ」と範囲を限定するのに用いる。

②それを最後として、次に予想される事態が起こらないことを表す。

接続 ①[名詞]+きり

②[動詞ーて]+たきり……ない

例文 ☆ 残ったのは田中さん一人きりだった。①

☆ 残ったお金はこれきりよ。①

☆ 彼は日本へ行ったきり、何の連絡もなかった。②

☆ ワープロを買ったきり、一回も使っていない。②

☆ 社長は朝一人客に会ったきり、一度も部屋から出てこない。②

参照文型 ④～きる ⑤～なり

Ⅲ

男の子を授けてもらいたい、女の子がほしいと神仏に祈る習わしは大昔からあった。

由緒のある川の中の大石に小石を投げ、あたったものは男子を授かるという信仰もあった。出産④に先立って、ある神木から赤ちゃんの泣き声がきこえる。神木の前からきこえれば男子、後ろからきこえれば女子という信仰もある。

日本だけではない。男女の産み分け願望は、紀元前の昔から根強いものがあり、無数の迷信がある。それが、たんなる迷信ではなく、かなり確実に女の赤ちゃんを産むことができるようになったという。

思考問題

問 文中の「男女の産み分け願望」はどういうことなのか。

1)一姫二太郎という願望

2)子供を生む前にその性別を知りたいという願望

3)自分で子供の性別を選びたい願望

4)男女を別々生む願望

新出単語

授ける(さずける)	[下一他]	赐予
神仏(しんぶつ)	[名]	神佛
習わし(ならわし)	[名]	风俗习惯
由緒(ゆいしょ)	[名]	有来历的
授かる(さずかる)	[五他]	(从上级或长辈处)得到
神木(かみき)	[名]	神树
紀元(きげん)	[名]	公元

文法の解説

④ ～に先立って

意味 「何かをはじめる前に」という意味を表す。

接続 [名詞]/[動詞-る]+に先立って

例文 ☆ 披露宴に先立って、二人は神社で結婚式を挙げた。

☆ サッカーの試合に先立って、始球式が行われた。

☆ 就任するに先立って、大統領は演説を行った。

☆ お見舞いに行くに先立って、まず、家族に相手の状況を尋ねた。

☆ 母の帰りに先だって、食事の支度をしておいた。

参照文型 ④～にあたって ④～に際して



課外練習

文字・語彙

問題Ⅰ 次の文の下線をつけた言葉は、どのように読みますか。その読み方を、それぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

1. 待望^①の男の子が授かり^②、祖父母^③も大喜びだ。

- | | | | | |
|--------|--------|--------|-------|--------|
| (1)待望 | 1)だいぼ | 2)たいぼう | 3)たいほ | 4)たいほう |
| (2)授かり | 1)もうかり | 2)さずかり | 3)うかり | 4)あずかり |
| (3)祖父母 | 1)ぞぶぼ | 2)そうふぼ | 3)そぶぼ | 4)そふぼ |

2. 最近、多くの人が、刺激物^①や動物性脂肪^②を控えて、健康に配慮^③した食事をとっている。

- | | | | | |
|--------|---------|---------|---------|---------|
| (1)刺激物 | 1)しけきぶつ | 2)しげきぶつ | 3)しげきもの | 4)しけきもの |
| (2)脂肪 | 1)しほう | 2)しぼう | 3)じほう | 4)じぼう |
| (3)配慮 | 1)はいりょう | 2)はいり | 3)はいりょ | 4)はいろう |

問題Ⅱ 次の文の下線をつけた言葉は、ひらがなでどう書きますか。同じひらがなで書く言葉を、1・2・3・4から一つ選びなさい。

1. ヨーロッパにはギリシャが起源^①の建築様式が多い。

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1)棄権 | 2)危険 | 3)起伏 | 4)紀元 |
|------|------|------|------|

2. 結果よりその過程^①を大切にしてきた。

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1)化合 | 2)加盟 | 3)仮定 | 4)家屋 |
|------|------|------|------|

3. 不信^①な人物を見かけたら、すぐに知らせる。

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1)婦人 | 2)赴任 | 3)付近 | 4)不振 |
|------|------|------|------|

問題Ⅲ 次の文の下線をつけた言葉は、どのような漢字を書きますか。その漢字を、それぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

1. 実際にげんち^①をしさつ^②して、作物のさいばい^③に使われる農薬の問題に対する自らのにんしき^④不足をつうかん^⑤した。

- | | | | | |
|---------|------|------|------|------|
| (1)げんち | 1)元地 | 2)原地 | 3)現地 | 4)源地 |
| (2)しさつ | 1)使察 | 2)視察 | 3)指察 | 4)司察 |
| (3)さいばい | 1)採培 | 2)栽培 | 3)裁培 | 4)彩培 |
| (4)にんしき | 1)認織 | 2)常識 | 3)任織 | 4)認識 |
| (5)つうかん | 1)通貫 | 2)通感 | 3)痛感 | 4)痛関 |

2. かつじ^①だけではかつこう^②がつかないので、絵などをそえたり^③してていさい^④をととのえた^⑤。

- | | | | | |
|--------|------|------|------|------|
| (1)かつじ | 1)活字 | 2)括宇 | 3)割字 | 4)刮字 |
|--------|------|------|------|------|

- | | | | | |
|----------|--------|--------|--------|--------|
| (2)かっこう | 1)確固 | 2)格好 | 3)隔攻 | 4)格構 |
| (3)そえたり | 1)添えたり | 2)装えたり | 3)訴えたり | 4)阻えたり |
| (4)ていさい | 1)訂採 | 2)体裁 | 3)堤載 | 4)丁裁 |
| (5)ととのえた | 1)通えた | 2)滞えた | 3)斉えた | 4)整えた |

問題Ⅳ 次の文の下線をつけた言葉の二重線()の部分、どのような漢字を書きますか。同じ漢字を使うものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 今年の夏は天候がふじゅんだった。
 - 1)子供のじゅんすいな心を大切にしたい。
 - 2)体はじゅんちょうに回復している。
 - 3)血液は体内をじゅんかんする。
 - 4)来月げじゅんに帰国します。
- 災害地のふっこうに、日夜、懸命な努力が続けられている。
 - 1)ある動機があつて彼はしんこうを捨てた。
 - 2)予定がへんこうされるときは掲示板にはっておきます。
 - 3)大企業の援助で伝統芸術しんこう財団が設立された。
 - 4)今年はてんこうが不順なので、農作物に大きな被害がありそうだ。

問題Ⅴ 次の文の _____ の部分に入れるのに最も適当なものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 毎日の _____ の積み重ねがノイローゼの原因になります。
 - 1)ストレス
 - 2)ストライキ
 - 3)ボイコット
 - 4)インフレ
- 会社側は、住民に対して損害を与えた責任を _____ していると、述べた。
 - 1)痛感
 - 2)噴出
 - 3)奮闘
 - 4)汚職
- 彼は悲しみの中で、なくなった母に _____ 歌を作曲した。
 - 1)さえぎる
 - 2)さえずる
 - 3)ささげる
 - 4)さずける
- 最近、競馬を楽しむ女性が多くなったが、どの馬が1位になるか _____ のは難しい。
 - 1)あてる
 - 2)あせる
 - 3)はえる
 - 4)さえる
- 我が社も海外進出をすることになり、英会話能力の必要性を _____ している。
 - 1)直感
 - 2)痛感
 - 3)反感
 - 4)共感
- この上着は私には大きすぎて _____ だ。
 - 1)ぺこぺこ
 - 2)どンドン
 - 3)ふらふら
 - 4)ぶかぶか
- 食べ物を捨てるなんて、 _____ ことだ。
 - 1)ものたりない
 - 2)あさましい
 - 3)うとうしい
 - 4)もったいない
- _____ 話ばかりするので、もう誰も耳を貸そうとしない。
 - 1)ろくな
 - 2)うつろな
 - 3)いいかげんな
 - 4)ぞんざいな
- あの若い社員に社長はずいぶん _____ を入れているらしいよ。
 - 1)手
 - 2)目
 - 3)耳
 - 4)肩

10. 会社に貢献した_____が認められて管理職に昇進した。

- 1) 効能 2) 業績 3) 名誉 4) 能率

問題Ⅵ 次の_____の言葉の意味が、それぞれのはじめの文と最も近い意味で使われている文を、1・2・3・4から一つ選びなさい。

1. むく……この写真はおもしろいが、週刊誌の表紙にはむかない。

- 1) 北をむいたときの右手のほうが東だ。
2) 気がむいたらいつでも遊びに来てください。
3) 全体の流れが少しはいい方向にむいてきたと思う。
4) あの人は愛想がいいからサービス業にむいている。

2. とし……としがあけたら、一度叔父さんのところに遊びに行こう。

- 1) 来年はどんなとしになるだろうか。
2) このごろつくづくとしを感じる。
3) いいとしをして馬鹿なまねをするのはやめてほしい。
4) 姉とはとしが離れているので、きょうだいというより親子のようだ。

問題Ⅶ 次の言葉の使い方として最も適当なものを、それぞれの1・2・3・4から一つ選びなさい。

1. ばか

- 1) 彼はきょうばかな機嫌がいい。
2) かぜをひいて鼻をばかにした。
3) 夏は冷房するので、電気代もばかにならない。
4) 君はまじめすぎるんだ。たまにはばかに話の一つもしたほうがいい。

2. コメント

- 1) 装置が故障してコメント不可能になる。
2) レポートに関する教授のコメントは非常に役に立った。
3) 番組の合間の短いコメントは、消費者の購買意欲をあおるためのものだ。
4) 白と黒の色のコメントがとても美しい。

文 法

問題Ⅰ 次の文の _____ にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4から最も適当なものを一つ選びなさい。

1. 真夏のマラソンとあって、選手たちは滝の _____ 汗を流していた。
1) ごとく 2) みたいに 3) ばかりに 4) ほどに
2. 昨夜の火事はストーブの消し忘れ _____ ものだそうだ。
1) による 2) に対しての 3) にとつての 4) からの
3. 雨の日は、晴れた日 _____、客の入りが悪い。
1) にとつて 2) に先立って 3) に沿って 4) に比べて
4. この本は日本語の文法 _____、わかりやすく説明してある。
1) によって 2) について 3) に対して 4) にとつて
5. 子どものころからピアノが上手だったこと _____、彼女には世界的なピアニストになる素質があったのだ。
1) からして 2) からには 3) からでは 4) からで
6. 一生懸命勉強する _____、日本語がおもしろくなってきた。
1) によって 2) に対して 3) について 4) につれて
7. プレゼントをいただいた _____、礼状を書くのを忘れていた。
1) きみ 2) ぎみ 3) きり 4) ぎり
8. 彼は頭がいい _____、要領がいいのです。
1) からは 2) からして 3) よつて 4) というより
9. 太陽黒点はガリレオ _____ 初めて望遠鏡で発見されたといわれるが、それ以前にも中国では肉眼で観察されていた。
1) よつて 2) による 3) によつて 4) がよつて
10. 海外旅行 _____、まずビザを取っておかなければならない。
1) に対して 2) に先立って 3) に沿って 4) に比べて
11. 私が大学をやめること _____、両親は反対しなかった。
1) について 2) につれて 3) にしたがって 4) に比べ
12. 祖父母 _____、孫は目の中に入れても痛くないほどかわいい。
1) に対しては 2) によつては 3) にとつては 4) については
13. 学生たちは試験に合格 _____、夜遅くまで勉強した。
1) しないために 2) をせずために
3) せんがために 4) しないがために
14. 負ける _____ と、必死にがんばったからこそ、今の私があるのだ。
1) ものを 2) ものだ 3) ものが 4) ものか
15. 子どもの行儀が悪いこと _____、あの家の家庭教育がわかる。
1) でした 2) にして 3) からして 4) として